

【令和元年度評価】中項目ごとの検証・確認における論点整理

自己評価の区分		判断の目安
IV	年度計画を上回っている	計画の実施状況が100%超
III	概ね年度計画どおり実施している	計画の実施状況が90%超100%以下
II	年度計画を下回っている	計画の実施状況が60%超90%以下
I	年度計画を大幅に下回っている	計画の実施状況が60%以下

地方独立行政法人岐阜県立下呂温泉病院

項目 No.	R1 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証							
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	論 点	検 証 (案)						
01	<p>2 医師、看護師、コメディカル等の医療従事者の確保</p> <p>より質の高い医療を安定的に提供するため、医師・看護師・コメディカル等医療従事者の必要数確保及び定着を図る。</p> <p>特に医師等の長時間労働を緩和するため、医師等の人材確保と定着化の取組として、次の事項等を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下呂温泉病院勤務医師や岐阜大学地域医療医学センター医師等が地域の教育研究を実践する場として設置した地域医療研究研修センターにおいて、地域医療を志す医師の養成 ・定年を迎えた医師のうち、質の高い医療の提供に寄与すると認められる者の定年延長（再雇用） ・医師等求人エージェントの活用 ・インターネットや医学専門誌などのメディアの積極的活用による医師の公募 ・県民ニーズに柔軟かつ迅速に対応できるよう非常勤医師を活用 ・医師の業務負担の軽減を図るため、医師事務作業補助者を充実するほか、看護師が医療業務に専念できるように病棟事務補助者の設置に向けた取組 ・質の高い患者サービスを提供するため、定年退職後再雇用の非常勤看護師の業務内容を見直 	<p>2 医師、看護師、コメディカル等の医療従事者の確保</p> <p>○ 医師の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成元年度は常勤医の新たな確保は行えなかった。なお、引き続き臨床研修医2名を確保することができた。 ・医師募集エージェントへの登録（インターネット等の活用） 昨年度に引き続き募集情報を登録 8社 ・常勤医不在の診療科（小児科、泌尿器科、眼科）及び常勤医不足の診療科については、岐阜大学病院・岐阜県総合医療センター等からの支援医師（非常勤）により、診療体制を確保し、地域の県民ニーズに対応した医療の推進を図った。 <p>診療依頼延べ回数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R 1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,717 回</td> <td>1,708 回</td> <td>1,793 回</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 看護師負担の軽減と看護体制維持に必要な看護師数の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護部において、ワークライフバランス（WLB：仕事とプライベートのバランスをとれるようにする取り組み）を推進した。年休取得に関して、取得状況を随時知らせることで、令和元年度の年休取得率は、7.8日であった。 ・退職後の看護師が中心となって患者搬送を行う「ポーター制度」を引き続き実施した。患者搬送に加えて、外来、透析支援も定期的に行える支援体制を整備した。 	H29	H30	R 1	1,717 回	1,708 回	1,793 回	III		<p>医師不足が最も大きな課題であるため、医師確保に向け引き続き努力された。</p>
H29	H30	R 1									
1,717 回	1,708 回	1,793 回									

項目 No.	R1 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																				
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	論 点	検 証 (案)																																			
	<p>すなど看護体制維持に必要な看護師数の確保 ・薬剤師の人員不足解消のため、当院ホームページでのPR、有効な広告媒体への募集広告の掲載、近隣大学薬学部への訪問などを通じて薬剤師の確保を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 看護の質の向上と拘束時間の短縮を目的に、新たな看護方式「PNS (パートナーシップ・ナーシング・システム)」を全ての病棟へ導入し、PNSの定着を図った。今年度は、監査員による評価を6病棟に行い、PNSの課題の洗い出しを行った。 ・ 三重大学加藤彰一教授の指導のもと急性期病棟における看護動線追跡調査を実施し、効率的な看護を実施した全室個室病棟が評価され、令和2年2月20日、第14回日本ファシリティマネジメント大賞の優秀ファシリティマネジメント大賞を受賞した。 ・ WLB推進事業委員会を中心に育児懇談会を行い、育児休業明けの看護師の不安軽減に努めた。 ・ 法人化のメリットである弾力的な職員採用 (随時募集・年2回の就職試験) を行い、看護体制の維持に必要な看護師・看護補助者等を確保した。(非常勤看護師3名、業務補助看護師1名、非常勤看護補助者2名) ・ 再就職支援者研修を2回計画したが、参加はなかった。 ホームページへの掲載、下呂市が発行する機関誌への掲載などにより、引き続き看護師の再就職を支援する。(●) ・ 大垣女子短期大学看護学科24名のガイダンスを受け入れた。 <p>看護師等に係る採用活動の実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">職種別</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">常勤</td> <td>看護師</td> <td>14</td> <td>9</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>助産師</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>保健師</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">非常勤</td> <td>(専門業務) 看護師</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>(業務補助) 看護師</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>(専門業務) 看護補助者</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>(業務補助) 看護補助者</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>※各年度4月1日採用者は、前年度の採用状況に含む。</p> <p>○ コメディカル等の医療従事者の確保 より質の高い医療の提供に必要なコメディカル、医師事務作業補助</p>	職種別		H29	H30	R1	常勤	看護師	14	9	6	助産師	-	1	-	保健師	-	-	-	非常勤	(専門業務) 看護師	1	5	8	(業務補助) 看護師	-	1	1	(専門業務) 看護補助者	-	-	1	(業務補助) 看護補助者	2	1	2			
職種別		H29	H30	R1																																				
常勤	看護師	14	9	6																																				
	助産師	-	1	-																																				
	保健師	-	-	-																																				
非常勤	(専門業務) 看護師	1	5	8																																				
	(業務補助) 看護師	-	1	1																																				
	(専門業務) 看護補助者	-	-	1																																				
	(業務補助) 看護補助者	2	1	2																																				

項目 No.	R1 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																	
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	論 点	検 証 (案)																																																
		<p>者の確保に取り組んでいる。薬剤師の確保については、随時募集の実施や大学へのPRを行っているが、欠員（1人）が充足できない状態が続いている。このため、薬剤師の補助として、医療サービス専門職2名を新たに配置した。今後も引き続き薬剤師の確保に取り組む。(●)</p> <p>コメディカル（常勤）採用活動の実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>職種別</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R 1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬剤師</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>臨床検査技師</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>臨床工学技士</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>診療放射線技師</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>理学療法士</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>作業療法士</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>言語聴覚士</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>管理栄養士</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>社会福祉士</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>※各年度4月1日採用者は、前年度の採用状況に含む。 ※薬剤師については、元年度に2人退職のため、増員となっていない。</p> <p>医師事務作業補助者採用活動の実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>職種別</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R 1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(専門業務) 医師事務作業補助者</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※各年度4月1日採用者は、前年度の採用状況に含む。</p>	職種別	H29	H30	R 1	薬剤師	0	0	2	臨床検査技師	2	1	1	臨床工学技士	0	1	0	診療放射線技師	1	2	2	理学療法士	2	2	0	作業療法士	0	2	0	言語聴覚士	2	0	0	管理栄養士	1	0	0	社会福祉士	0	1	0	職種別	H29	H30	R 1	(専門業務) 医師事務作業補助者	2	0	1			
職種別	H29	H30	R 1																																																		
薬剤師	0	0	2																																																		
臨床検査技師	2	1	1																																																		
臨床工学技士	0	1	0																																																		
診療放射線技師	1	2	2																																																		
理学療法士	2	2	0																																																		
作業療法士	0	2	0																																																		
言語聴覚士	2	0	0																																																		
管理栄養士	1	0	0																																																		
社会福祉士	0	1	0																																																		
職種別	H29	H30	R 1																																																		
(専門業務) 医師事務作業補助者	2	0	1																																																		
02	<p>1 待ち時間の改善等 診療時間の弾力的運用など待ち時間の短縮や待ち時間の過ごし方について、待ち時間等の実態を把握し、総合的な待ち時間対策に取り組む。</p>	<p>1 待ち時間の改善等 ○ 待ち時間対策 待ち時間については、常に看護師が患者の様子を気にかかけ、声かけを行っている。 緊急患者のため診療時間が遅れそうなときは必ず声かけを行い、患者の不安軽減に努めている。 ・ 診察の遅れについては、診察の進行状況に係る情報を提供 ・ 看護師による待合室の巡視（患者の急変や気分不快等の早期発見に努める）と患者への積極的な声掛けの推進</p>	III		再診患者の待ち時間の減少に向け、努力されたい。																																																

項目 No.	R1 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																																																					
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	論 点	検 証 (案)																																																																																				
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 椅子の配置を検討し、プライバシーが保たれることのできる空間づくり ・ 小児科外来における図書コーナーでの、持ち帰り可能な雑誌等の設置 ・ 待ち時間の過ごし方を検討 (初診の診察が混んでいる場合は一旦病院外へ出て良いことを説明し、ソファで待つ必要が無いように声かけ) <p>○ 外来診療待ち時間調査</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>待ち時間</th> <th colspan="2">H29</th> <th colspan="2">H30</th> <th colspan="2">R 1</th> </tr> <tr> <th>・初診患者</th> <th>人数</th> <th>%</th> <th>人数</th> <th>%</th> <th>人数</th> <th>%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>なし</td> <td>66</td> <td>81</td> <td>64</td> <td>86</td> <td>38</td> <td>49</td> </tr> <tr> <td>1～30分</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>7</td> <td>9</td> <td>27</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>31～60分</td> <td>7</td> <td>9</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>10</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>61分以上</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>待ち時間</th> <th colspan="2">H29</th> <th colspan="2">H30</th> <th colspan="2">R 1</th> </tr> <tr> <th>・再診患者</th> <th>人数</th> <th>%</th> <th>人数</th> <th>%</th> <th>人数</th> <th>%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>なし</td> <td>197</td> <td>79</td> <td>243</td> <td>86</td> <td>111</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>1～30分</td> <td>35</td> <td>14</td> <td>30</td> <td>11</td> <td>185</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>31～60分</td> <td>11</td> <td>5</td> <td>8</td> <td>2</td> <td>77</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>61分以上</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>17</td> <td>14</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ワンデイ調査、調査実施時期が異なる。</p>	待ち時間	H29		H30		R 1		・初診患者	人数	%	人数	%	人数	%	なし	66	81	64	86	38	49	1～30分	3	4	7	9	27	35	31～60分	7	9	1	1	10	13	61分以上	5	6	2	4	2	3	待ち時間	H29		H30		R 1		・再診患者	人数	%	人数	%	人数	%	なし	197	79	243	86	111	28	1～30分	35	14	30	11	185	48	31～60分	11	5	8	2	77	20	61分以上	5	2	1	1	17	14			
待ち時間	H29		H30		R 1																																																																																				
・初診患者	人数	%	人数	%	人数	%																																																																																			
なし	66	81	64	86	38	49																																																																																			
1～30分	3	4	7	9	27	35																																																																																			
31～60分	7	9	1	1	10	13																																																																																			
61分以上	5	6	2	4	2	3																																																																																			
待ち時間	H29		H30		R 1																																																																																				
・再診患者	人数	%	人数	%	人数	%																																																																																			
なし	197	79	243	86	111	28																																																																																			
1～30分	35	14	30	11	185	48																																																																																			
31～60分	11	5	8	2	77	20																																																																																			
61分以上	5	2	1	1	17	14																																																																																			
05	<p>1 へき地医療の拠点的功能の充実</p> <p>広大な診療面積と飛騨川水系に沿った細く長い距離を有するという特徴のため、病院という施設医療のみでは住民の健康を守ることはできない。</p> <p>地域医療研究研修センターの機能を充実し、診療医療の充実と地域診断機能の創設、さらに、診療所との連携強化を図ることで、予防医学及び連携医療を構築し、「生活の場の医療」の完成を目指す。</p>	<p>1 へき地医療の拠点的功能の充実</p> <p>飛騨南部地域の基幹病院として、不採算部門となりやすい救急・小児・産科医療の提供維持に努めた。</p> <p>昨年度から引き続き下呂市が実施する産婦支援事業 (産後ケア、産婦健診助成事業、母乳育児支援事業) に協力した。また、下呂市から乳幼児健診業務を受託するなど、地域連携による周産期の支援体制づくりに寄与した。</p> <p>○ 乳幼児健診等の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4か月児健診 11回、129人 	IV	<p>下呂市と協力して地域医療に貢献している点は評価できる。</p> <p>在宅医療の支援体制の推進によって、地域モデルを目指していただきたい。</p>																																																																																					

項目 No.	R1 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																																	
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	論 点	検 証 (案)																																																																
	<p>5 在宅療養支援体制の構築及び推進</p> <p>地域における効率的かつ効果的な医療提供体制を確保することとして、当院においては、地域包括ケア病棟機能を更に充実させ、急性期病棟からの受皿として、在宅復帰支援に向けチーム医療の強化、推進を図る。</p> <p>認定看護師などの専門性の高い能力を活用し、在宅で療養している患者、家族が安心して療養生活ができるよう相談窓口として、「看護外来」を設置するとともに訪問看護ステーションや施設とも連携した訪問指導の充実を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1歳6か月健診 11回、124人 ・ 歯科健診 11回、124人 <p>5 在宅療養支援体制の構築及び推進</p> <p>○ 地域包括ケア病棟 病床機能の役割分担として、地域包括ケア病棟3棟104床を運用している。令和元年度は患者数の減少も影響し病床利用率の減少もみられたため地域からの直接入院の受け入れを考慮し地域との連携を密に行うよう取り組んだ。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">病棟名・区分</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">東 4</td> <td>延べ患者数</td> <td>10,941人</td> <td>10,473人</td> <td>9,168人</td> </tr> <tr> <td>病床利用率</td> <td>78.9%</td> <td>75.5%</td> <td>65.9%</td> </tr> <tr> <td>在宅復帰率</td> <td>90.3%</td> <td>93.0%</td> <td>86.7%</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数</td> <td>33.5日</td> <td>38.6日</td> <td>36日</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">西 4</td> <td>延べ患者数</td> <td>11,041人</td> <td>10,062人</td> <td>8,758人</td> </tr> <tr> <td>病床利用率</td> <td>79.6%</td> <td>72.6%</td> <td>62.9%</td> </tr> <tr> <td>在宅復帰率</td> <td>93.2%</td> <td>83.1%</td> <td>83.7%</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">東 3</td> <td>延べ患者数</td> <td>—</td> <td>3,269人</td> <td>6,082人</td> </tr> <tr> <td>病床利用率</td> <td>—</td> <td>64.2%</td> <td>59.4%</td> </tr> <tr> <td>在宅復帰率</td> <td>—</td> <td>97.7%</td> <td>89.3%</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数</td> <td>—</td> <td>16.4日</td> <td>18.1日</td> </tr> </tbody> </table> <p>※東3病棟は、運用開始のH30.10月からの実績 ※在宅復帰率は6ヶ月平均の3月末値</p> <p>○ 継続看護連絡会議 既存の退院支援プログラムの見直し、外来通院中からの継続的な支援方法等について検討した。外来看護師の継続看護に対する意識が高まり、継続看護連絡会議が前年度より多く開催できた。</p> <p>会議の実施件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>会議名</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域包括ケア判定会議</td> <td>117回</td> <td>120回</td> <td>100回</td> </tr> <tr> <td>継続看護連絡会議</td> <td>144回</td> <td>105回</td> <td>163回</td> </tr> </tbody> </table>	病棟名・区分		H29	H30	R1	東 4	延べ患者数	10,941人	10,473人	9,168人	病床利用率	78.9%	75.5%	65.9%	在宅復帰率	90.3%	93.0%	86.7%	平均在院日数	33.5日	38.6日	36日	西 4	延べ患者数	11,041人	10,062人	8,758人	病床利用率	79.6%	72.6%	62.9%	在宅復帰率	93.2%	83.1%	83.7%	東 3	延べ患者数	—	3,269人	6,082人	病床利用率	—	64.2%	59.4%	在宅復帰率	—	97.7%	89.3%	平均在院日数	—	16.4日	18.1日	会議名	H29	H30	R1	地域包括ケア判定会議	117回	120回	100回	継続看護連絡会議	144回	105回	163回			
病棟名・区分		H29	H30	R1																																																																	
東 4	延べ患者数	10,941人	10,473人	9,168人																																																																	
	病床利用率	78.9%	75.5%	65.9%																																																																	
	在宅復帰率	90.3%	93.0%	86.7%																																																																	
	平均在院日数	33.5日	38.6日	36日																																																																	
西 4	延べ患者数	11,041人	10,062人	8,758人																																																																	
	病床利用率	79.6%	72.6%	62.9%																																																																	
	在宅復帰率	93.2%	83.1%	83.7%																																																																	
東 3	延べ患者数	—	3,269人	6,082人																																																																	
	病床利用率	—	64.2%	59.4%																																																																	
	在宅復帰率	—	97.7%	89.3%																																																																	
	平均在院日数	—	16.4日	18.1日																																																																	
会議名	H29	H30	R1																																																																		
地域包括ケア判定会議	117回	120回	100回																																																																		
継続看護連絡会議	144回	105回	163回																																																																		

項目 No.	R1 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																													
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	論 点	検 証 (案)																												
		<p>○ 介護者及び関係施設職員に係る褥瘡指導</p> <p>当院の皮膚・排泄ケア認定看護師が、メール、電話、手紙などでの相談に対応した (約 40 件)。また、関係施設職員に対する褥瘡ケア指導を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R 1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>関係施設職員褥瘡ケア指導</td> <td>13 回</td> <td>8 回</td> <td>5 回</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 外来継続用紙</p> <p>外来部門では、「外来継続用紙」を基に患者情報を共有し、継続看護が必要な患者に対して、生活指導を行うことができた。</p> <p>令和元年度は外来看護師が関わり、在宅療養指導料を 872 件算定した。</p> <p>在宅自己注射指導管理料 延件数 (実人数)</p> <table> <tbody> <tr> <td>整形外科</td> <td>265 件 (44 人)</td> </tr> <tr> <td>小児科</td> <td>80 件 (17 人)</td> </tr> <tr> <td>皮膚科</td> <td>6 件 (6 人)</td> </tr> <tr> <td>外科</td> <td>2 件 (2 人)</td> </tr> <tr> <td>腎内</td> <td>40 件 (4 人)</td> </tr> <tr> <td>内科</td> <td>161 件 (21 人)</td> </tr> <tr> <td>ストマ処置</td> <td>207 件</td> </tr> <tr> <td>外科</td> <td>166 件 (46 人)</td> </tr> <tr> <td>泌尿器</td> <td>151 件 (12 人)</td> </tr> <tr> <td>がん患者指導管理料</td> <td>1 件 (1 人)</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 在宅患者訪問看護・指導料 (専門性の高い訪問看護実施)</p> <p>平成 28 年度から、通院が困難な在宅療養を行っている患者に対し、計画的な訪問看護を実施しているが、令和元年度は、対象患者がいなかった。</p>		H29	H30	R 1	関係施設職員褥瘡ケア指導	13 回	8 回	5 回	整形外科	265 件 (44 人)	小児科	80 件 (17 人)	皮膚科	6 件 (6 人)	外科	2 件 (2 人)	腎内	40 件 (4 人)	内科	161 件 (21 人)	ストマ処置	207 件	外科	166 件 (46 人)	泌尿器	151 件 (12 人)	がん患者指導管理料	1 件 (1 人)			
	H29	H30	R 1																														
関係施設職員褥瘡ケア指導	13 回	8 回	5 回																														
整形外科	265 件 (44 人)																																
小児科	80 件 (17 人)																																
皮膚科	6 件 (6 人)																																
外科	2 件 (2 人)																																
腎内	40 件 (4 人)																																
内科	161 件 (21 人)																																
ストマ処置	207 件																																
外科	166 件 (46 人)																																
泌尿器	151 件 (12 人)																																
がん患者指導管理料	1 件 (1 人)																																

項目 No.	R1 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証																																				
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 			自己 評価	論 点	検 証 (案)																																		
		<table border="1"> <tr> <td>訪問看護・指導内容</td> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>R 1</td> </tr> <tr> <td>緩和ケア(退院後指導)</td> <td>1 回</td> <td>4 回</td> <td>0 回</td> </tr> <tr> <td>褥瘡ケア</td> <td>6 回</td> <td>1 回</td> <td>0 回</td> </tr> </table>	訪問看護・指導内容	H29	H30	R 1	緩和ケア(退院後指導)	1 回	4 回	0 回	褥瘡ケア	6 回	1 回	0 回																											
訪問看護・指導内容	H29	H30	R 1																																						
緩和ケア(退院後指導)	1 回	4 回	0 回																																						
褥瘡ケア	6 回	1 回	0 回																																						
08	1 地域医療を目指す医師の養成	<p>1 地域医療を目指す医師の養成</p> <p>協力型の臨床研修病院として岐阜大学地域医療医学センター及び岐阜県総合医療センター等から地域医療研修を行う臨床研修医の受入れを行うとともに、基幹型の臨床研修病院として、計4名の臨床研修医について、研修を行った。</p> <p>【研修の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1年次研修医 2名 実施した研修科：内科10ヶ月、救急科3ヶ月、 整形外科3ヶ月、脳神経外科3ヶ月、精神科3ヶ月、 地域医療1ヶ月、麻酔科1ヶ月 ・ 2年次研修医 2名 実施した研修科：内科8ヶ月、救急3ヶ月、整形外科 3ヶ月、脳神経外科6ヶ月、地域医療1ヶ月、麻酔 科1ヶ月、精神科2ヶ月 	III		初期研修医の受入先としての価値はあり、さらなる魅力づくりをされたい。																																				
09	<p>1 医学生、看護学生やコメディカルを目指す学生の実習受入れ</p> <p>看護学生の病院実習の受入れ体制の充実に努める。</p> <p>また、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、薬剤師、管理栄養士、診療放射線技師、臨床検査技師等のコメディカル学生についても積極的に受入れを行う。</p>	<p>1 医学生、看護学生やコメディカルを目指す学生の実習受入れ</p> <p>○ 医学生の実習受入実績</p> <table border="1"> <tr> <td>項 目</td> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>R 1</td> </tr> <tr> <td>医学生</td> <td>0 名</td> <td>0 名</td> <td>0 名</td> </tr> </table> <p>○ 看護学生の実習受入実績</p> <table border="1"> <tr> <td>学校名</td> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>R 1</td> </tr> <tr> <td>下呂看護専門学校</td> <td>79 名</td> <td>83 名</td> <td>75 名</td> </tr> <tr> <td>岐阜県立看護大学</td> <td>7 名</td> <td>7 名</td> <td>7 名</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0 名</td> <td>3 名</td> <td>2 名</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>86 名</td> <td>93 名</td> <td>84 名</td> </tr> </table> <p>○ コメディカル等の実習受入実績</p> <table border="1"> <tr> <td>職種</td> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>R 1</td> </tr> <tr> <td>理学療法士</td> <td>9 名</td> <td>12 名</td> <td>7 名</td> </tr> </table>	項 目	H29	H30	R 1	医学生	0 名	0 名	0 名	学校名	H29	H30	R 1	下呂看護専門学校	79 名	83 名	75 名	岐阜県立看護大学	7 名	7 名	7 名	その他	0 名	3 名	2 名	計	86 名	93 名	84 名	職種	H29	H30	R 1	理学療法士	9 名	12 名	7 名	III		看護学生の実習受入増加に向け、引き続き努力されたい。
項 目	H29	H30	R 1																																						
医学生	0 名	0 名	0 名																																						
学校名	H29	H30	R 1																																						
下呂看護専門学校	79 名	83 名	75 名																																						
岐阜県立看護大学	7 名	7 名	7 名																																						
その他	0 名	3 名	2 名																																						
計	86 名	93 名	84 名																																						
職種	H29	H30	R 1																																						
理学療法士	9 名	12 名	7 名																																						

項目 No.	R1 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証																													
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 			自己 評価	論 点	検 証 (案)																											
		<table border="1"> <tr><td>作業療法士</td><td>3名</td><td>4名</td><td>2名</td></tr> <tr><td>言語聴覚士</td><td>-名</td><td>2名</td><td>-名</td></tr> <tr><td>薬剤師</td><td>4名</td><td>-</td><td>1名</td></tr> <tr><td>管理栄養士</td><td>3名</td><td>2名</td><td>1名</td></tr> <tr><td>社会福祉士</td><td>-名</td><td>1名</td><td>-名</td></tr> <tr><td>医療事務</td><td>-名</td><td>2名</td><td>1名</td></tr> <tr><td>計</td><td>19名</td><td>23名</td><td>12名</td></tr> </table>	作業療法士	3名	4名	2名	言語聴覚士	-名	2名	-名	薬剤師	4名	-	1名	管理栄養士	3名	2名	1名	社会福祉士	-名	1名	-名	医療事務	-名	2名	1名	計	19名	23名	12名				
作業療法士	3名	4名	2名																															
言語聴覚士	-名	2名	-名																															
薬剤師	4名	-	1名																															
管理栄養士	3名	2名	1名																															
社会福祉士	-名	1名	-名																															
医療事務	-名	2名	1名																															
計	19名	23名	12名																															
		<p>○ 特別支援学校生徒の実習受入実績</p> <table border="1"> <tr><td>H29</td><td>H30</td><td>R 1</td></tr> <tr><td>1名</td><td>3名</td><td>1名</td></tr> </table>	H29	H30	R 1	1名	3名	1名																										
H29	H30	R 1																																
1名	3名	1名																																
		<p>○ 弥富看護学校の見学実習について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小児看護学・老年看護学・統合実習については3名の受入れを行った。 																																
		<p>○ 下呂看護専門学校への講師派遣</p> <table border="1"> <tr><td>職種</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R 1</td></tr> <tr><td>医師、歯科医師</td><td>7名</td><td>7名</td><td>10名</td></tr> <tr><td>看護師</td><td>11名</td><td>7名</td><td>7名</td></tr> <tr><td>コメディカル</td><td>5名</td><td>4名</td><td>6名</td></tr> <tr><td>計</td><td>23名</td><td>18名</td><td>23名</td></tr> </table>	職種	H29	H30	R 1	医師、歯科医師	7名	7名	10名	看護師	11名	7名	7名	コメディカル	5名	4名	6名	計	23名	18名	23名												
職種	H29	H30	R 1																															
医師、歯科医師	7名	7名	10名																															
看護師	11名	7名	7名																															
コメディカル	5名	4名	6名																															
計	23名	18名	23名																															

項目 No.	R1 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																					
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	論 点	検 証 (案)																																				
10	<p>1 地域医療水準の向上</p> <p>地域医療研究研修センターでは、岐阜大学地域医療医学センター及び岐阜県総合医療センターとの密接な連携の下に、二次医療圏における医療提供体制の課題と解決策に関する調査研究及び当院を実践フィールドとした地域医療学の研究を行うことで、地域医療を担う医師の養成に取り組む。</p> <p>また、二次救急体制の課題検討のため、下呂市及び中津川市消防本部と当院医師及びコメディカルとの情報交換会を開催し、症例発表や講演会を通じて地域メディカルコントロールの連携強化を図る。</p> <p>病診連携を推進し、開業医との情報交換を積極的に行うとともに、高度医療機器や開放型病床の利用促進により地域医療の向上を図る。</p>	<p>1 地域医療水準の向上</p> <p>地域医師会との情報交換会を原則第1木曜日を実施し、地域開業医との連携を図るとともに、下呂市医師会主催の学術講演会において座長・演者を務めるなどしている。</p> <p>また、二次医療体制の課題検討のため、下呂市及び中津川市消防本部との情報交換会を毎月開催。症例発表や講演会を通して地域メディカルコントロールの連携を強化し、救急医療体制の充実強化を図った。</p> <p>飛騨地域メディカルコントロール協議会の感染防止部会に感染管理認定看護師が参加し、共同して病院前救護における感染対策活動を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定例会議：2回（5月31日、11月8日） ・感染対策研修会：新型コロナにより中止 ・高山消防署のラウンド調査（新規事業）：10月18日 <p>○ 当院医療機器の地域開業医等の共同利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>医療機器</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MR I</td> <td>155 件</td> <td>173 件</td> <td>128 件</td> </tr> <tr> <td>CT</td> <td>29 件</td> <td>17 件</td> <td>21 件</td> </tr> <tr> <td>心エコー</td> <td>1 件</td> <td>2 件</td> <td>2 件</td> </tr> <tr> <td>頸動脈エコー</td> <td>1 件</td> <td>3 件</td> <td>2 件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>186 件</td> <td>195 件</td> <td>153 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 開放型病床の導入</p> <p>医療資源の有効な活用と地域連携の推進を目指し、地元医師会及び歯科医師会等の協力のもと、平成24年度から開放型病床5床を運用しており、患者に対し安心した療養環境の提供が図られている。</p> <p>開放型病床利用実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R 1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数 (実人数)</td> <td>15 名</td> <td>17 名</td> <td>12 名</td> </tr> <tr> <td>利用延べ人数</td> <td>335 名・日</td> <td>149 名・日</td> <td>180 名・日</td> </tr> </tbody> </table>	医療機器	H29	H30	R1	MR I	155 件	173 件	128 件	CT	29 件	17 件	21 件	心エコー	1 件	2 件	2 件	頸動脈エコー	1 件	3 件	2 件	計	186 件	195 件	153 件	項 目	H29	H30	R 1	利用者数 (実人数)	15 名	17 名	12 名	利用延べ人数	335 名・日	149 名・日	180 名・日	Ⅲ		開放型病床の利用者増加に向け、引き続き努力されたい。
医療機器	H29	H30	R1																																						
MR I	155 件	173 件	128 件																																						
CT	29 件	17 件	21 件																																						
心エコー	1 件	2 件	2 件																																						
頸動脈エコー	1 件	3 件	2 件																																						
計	186 件	195 件	153 件																																						
項 目	H29	H30	R 1																																						
利用者数 (実人数)	15 名	17 名	12 名																																						
利用延べ人数	335 名・日	149 名・日	180 名・日																																						

項目 No.	R1 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証													
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	論 点	検 証 (案)												
11	社会的な要請への協力 医療に関する鑑定や調査、講師派遣などの社会的な要請に対する協力を行う。	下呂市が実施する「障がい児療育支援事業」に対し、当院から専門知識を有する理学療法士を派遣し、社会的な要請に応えた。 【派遣回数】 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R 1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10回</td> <td>8回</td> <td>10回</td> </tr> </tbody> </table>	H29	H30	R 1	10回	8回	10回	Ⅲ		障がい児療育支援にに対し専門知識を有する理学療法士を派遣するなど、引き続き社会的な要請へ協力されたい。						
H29	H30	R 1															
10回	8回	10回															
15	1 新型インフルエンザ等発生時における受入れ体制の整備 新型インフルエンザなどの新たな感染症の集団発生に備えた受入れ体制を整備、必要な物資・資材を確保、施設・設備を点検するなど、岐阜県と連携して県立病院として医療的な危機対応を行う。	1 新型インフルエンザ等発生時における受入れ体制の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ 飛騨地域新型インフルエンザ等発生対応訓練への参加に併せて、メールの受信確認、事務局内部での連携体制を確認した。 ・ 全室個室化とすべての病室に窓があり、換気もとれる構造を活かすとともに、岐阜大学地域医療医学センター村上特任教授の指導のもと、感染管理認定看護師2名を中心に新型コロナウイルス陽性患者（軽症者）受入れ準備検討に着手した。 ・ 手指衛生直接観察の実施、手指消毒自動ディスペンサー増設、手指消毒剤使用量モニタリングにより手指衛生を強化した。 	Ⅳ		感染管理認定看護師を中心とした体制整備は評価できる。 新型コロナウイルス感染者の受入医療機関として、全室個室のメリットを生かしていただきたい。												
17	※ 診療体制及び人員配置の弾力的運用 1 弾力的運用の実施 医療需要の変化や患者の動向に迅速に対応するため、診療科の変更や医師・看護師等の配置の弾力的運用に努める。特に看護師については業務量に応じ柔軟な職員配置を行う。 また、医療環境の変化や病棟薬剤業務実施加算などの新たな業務に対応するため、薬剤師の確保に努め、業務に応じた職員配置を行う。 その他、障害者雇用に努め、適切な職員配置を促進する。	1 弾力的運用の実施 <ul style="list-style-type: none"> ○ 柔軟な勤務配置 看護部では、状況に応じたタイムリーな支援体制を構築するために、入退院患者数や看護必要度の把握と支援状況の周知を図った。 また、退職後の看護師が中心となって患者搬送を行う「ポーター制度」を引き続き実施した。退職後の看護師が昨年度同様患者搬送に加えて、外来支援等も定期的に行っているため、看護師が行う病棟や外来支援時間を昨年度より短縮することができ、負担軽減につながった。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="2">全部署の支援時間数</th> <th colspan="2">単位：時間</th> </tr> <tr> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R 1</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,532.1</td> <td>2,252.2</td> <td>1,118.3</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ○ 病棟薬剤業務実施加算(●) 薬剤師に係る欠員充当が実施できず、病棟毎に担当者を張り付けできない状況が続いており、加算の取得には至っていない。今後も欠員 	全部署の支援時間数		単位：時間		H29	H30	R 1		2,532.1	2,252.2	1,118.3		Ⅲ		病棟薬剤業務実施加算の取得を目指し、薬剤師の確保に向け引き続き努力されたい。
全部署の支援時間数		単位：時間															
H29	H30	R 1															
2,532.1	2,252.2	1,118.3															

項目 No.	R1 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	論 点	検 証 (案)
		を充当し、加算を取得することを目指す。			
25	予算（人件費の見積含む。）、収支計画及び資金計画 「2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組」で定めた計画を確実に実施することにより、業務運営の改善及び効率化を進めるなどして、中期目標の期間の最終年度までに、経常収支比率を100%以上、医業収支比率を100%以上及び職員給与費対医業収益比率を60%以下とすることを目指す。	予算（人件費の見積含む。）、収支計画及び資金計画 【経常収支比率】 (●) 経常収支比率について、収支計画の設定比率92.3%に対して、決算では86.0%となり、6.3ポイント計画を下回った。 【医業収支比率】 (●) 医業収支比率について、収支計画の設定比率94.8%に対して、決算では88.2%となり、6.6ポイント計画を下回った。 【職員給与費対医業収益比率】 (●) 職員給与費対医業収益比率について、収支計画の設定比率81.7%に対して、決算では94.5%となり、12.8ポイント下回った。 次年度以降、経常収支比率及び医業収支比率100%以上、職員給与費対医業収益比率75%以下を目指して引き続き経営努力を続けていく。	II		収支改善のため、引き続き医師確保に努力されたい。
26	※ 職員の就労環境の向上 1 職員の就労環境の整備 医療従事者の業務負担を軽減するため、必要な人数の確保に努めるとともに、時間外勤務の縮減等の勤務環境の改善を図る。また、職員の実情に応じた柔軟な勤務形態の導入等次の対策を講じる。 ・変則2交代制や2交代制及び遅出・早出勤等の多様な勤務時間形態の設定により、看護職員をはじめ職員の業務負担の軽減を図る。 ・救急外来に係る管理当直及び日直の受付業務については、引き続き非常勤業務補助職員による対応により、常勤職員の時間外勤務を軽減する。 ・院内相談窓口の機能を強化する。 ・ワークライフバランスの向上、労務管理の手引き書の作成に取り組む等就労環境の整備を行う。 ・時間外勤務命令簿による事前申請・事後確認の徹底を図るとともにタイムカードの導入やログ	1 職員の就労環境の整備 ○正規職員・非正規職員との格差是正 ・ 正規職員・非正規職員の格差是正について、現状を洗い出し、該当する規程の見直しを行った。 ○ 時間外勤務の縮減 ・ 看護部及びコメディカルにタイムカードを導入し、勤務実態の適正化に努めた。 ○ 精神・発達障害しごとサポーター養成講座の受講 精神・発達障害を持つ職員と同じ職場の仲間として仕事をするために、大垣公共職業安定所の職員を講師として招き、障がいの有無に関係なく活躍できる職場作りに努めた。(厚生労働省の普及活動事業を利用) 精神・発達障害しごとサポート養成講座 計2回開催 職員55名参加	III		タイムカードの本格導入や精神・発達障害しごとサポーター養成講座の受講は評価できる。

項目 No.	R1 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		<ul style="list-style-type: none"> ・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●) 	自己 評価	論 点	検 証 (案)
	<p>記録等の確認による勤務実態の適正把握を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新卒看護職員卒後研修や再就職支援研修を開催し、看護実践能力の習得を支援する。 ・職員が高い意欲を持ち、能力を発揮できる病院を目指し、学会等へ参加する機会の確保と、病院内における研修会、講演会等の開催に努める。 ・ハラスメントの防止につき、必要な措置を講じる。 				